

2005年度 鹿児島県・南種子町立中平小学校

5年生 チャレンジ大単元 実施内容

(1) 活動名

「Dr. 地球人, 未来を救え！」

(2) 活動のねらい

- ① 稲作活動をとおして、植物を育てる大変さや自然の恵みのすばらしさを感じ、あらためて身近な自然環境を見つめることのできる目を養う。
- ② 身近な環境の変化を調べることから、日本や地球全体で起こっている自然の変化を理解し、環境問題について考えようとする心情を育てる。
- ③ 宇宙から見た地球の様子などから、地球の環境の変化の実態を知り、その要因について調べ、自分たちにできることを考え、判断し、取り組んでいこうとする意欲を高める。

(3) 対象：5年生(37名)

(4) 回数/総時間：46回(34時間30分)

過程	月	時	主な学習活動
ふれる	4	1	○ 1年間を通して取り組んでいく活動について理解し、活動の見通しを立てる。
		6	○ 学校内の空き地を掘り、土を入れ替え、田んぼとして稲作ができる状態を作る。 ○ 田植え前にすることや稲作に取り組む上で大切なことなどを先進校の実践や報告を基に、調べまとめておく。 ○ 粘土を入れ、水を張り、肥料を混ぜ、田植えができる状態にする。
見通す	5	6	○ 実際に田植えを体験し、思ったことや感じたことを文章にまとめる。 ○ 社会科の学習と関連させ、有機栽培や無農薬栽培、合鴨農法など、稲作と自然や環境との関わりについて調べ進める。 ○ 自然や環境にやさしい稲作や農業の在り方が考えられるようになってきた社会の背景やその原因について調べる。 ○ 4年生のときに受けた宇宙教室のことを思い出し、地球の環境の変化や現在の状況を考える。
つかむ	6 7	6	○ 「宇宙から見た地球」というテーマを基に、自分が知っている宇宙のことを掲げ、それが本当かどうかを調べてみたり、さらに調べ進めたりして、宇宙のことや地球の様子について関心をもたせる。
調べる			○ 宇宙や地球の様子について疑問に思ったことや自分で調べられなかったことについてまとめ、質問したいことや聞いてみたいことを考える。 ○ 自然の恵みを受けて成長する稲の様子を観察したり、虫や病気から稲を守り、成育に必要な温度条件のための水量調節をこまめに行ったりして、稲作へ関わりをもち続けるようにする。
試す	9	6	○ 稲刈りした(稲刈りは夏休み中に実施)稲を脱穀し、自分たちが育てたお米が収穫できた喜びを感じる。
問題解決をする			○ 稲作でお世話になった方(保護者等)を招待して、収穫したお米を炊き上げ、おにぎりを作り、自然の恵みを味わう。また、食(稲)やそれを大きく育てた自然への感謝の気持ちと環境を守ろうとする気持ちを考え合う。 ○ ビデオ「毛利衛/宇宙で学ぶ理科実験」を見て思ったことや感じたことをまとめ、さらに調べてみたいことや質問したいことを整理する。

10	4	○ 国語の学習と関連させ、身近なごみ問題について調べるとともに、「人」と「もの」との関わりやリサイクルの意義、大切さなどに目を向けさせ、地球の資源を大切にすることやごみを減らそうとする意識を高める。
11	2	○ アルミ缶のリサイクルを基に環境問題について考えるというビデオを見て、ごみを減らすための活動とリサイクル活動への関心を高める。 ○ 自分たちで取り組める身近なリサイクル活動について考え、取り組みへの準備を行う。
12	4	○ JAXAより提供された画像データをもとに、地球やさまざまな星に関し、不思議に思ったことや調べてみたいと思ったことについてまとめる。 ○ 様々な星について調べることを通し、地球が有するすばらしい環境や、他の惑星にない自然環境について理解し、改めてそのすばらしい環境が破壊されていることについて調べようとする意識を高める。
1 2	9	○ 地球温暖化、酸性雨、絶滅危惧種、絶滅した動物、砂漠化、水の汚染の6つのテーマに分かれ、それぞれについて調べる活動を進めるとともに、調べたことを発表会に向けてまとめる。 ○ インターネットやJAXAより提供された資料をもとに、それぞれの原因や地球環境への影響、今後の影響に関する情報や未来の様子などについて調べ進めた。
3	2	○ 宇宙教育センター職員である岸さんを迎えて発表会を実施し、それぞれが課題をもって調べまとめたことを発表した。調べられたことや調べられなかったこと、今後の課題についての意見交換を行うとともに、岸さんより、2005年2月に打ち上げ成功したばかりの観測衛星「だいち」の観測画像を紹介してもらい、子どもたちの地球環境を保全しようとする意識を高めることができた。